



優しさ は ほっこり

心 あ つ た か ニ ュ ー ス

NMCAA
NO3

アカデミーメンバーからの投稿です。娘と一緒に電車に乗っていた時のこと、赤ちゃんを抱っこされたママが乗ってこられたので、乗り換えが近かった私達が、席をお譲りしました。それだけでも、とても喜んでくださった。良かったな、と思っていたのですが、今度はママと赤ちゃんの前に立っていらつしやうたご婦人2人が「かわいいわね。何ヶ月？」今は面白い抱っこ紐があるのね！私達の頃はおんぶ紐しかなくてね。」若いママさんも「そうですね。」と子育て話で盛り上がっていました。娘が赤ちゃんの時、一緒に電車に乗ると泣いて周りに迷惑をかけたように、とても気を使っていたので、そんな時に周りの人がかけてくれる「かわいいわね」「いくつ」というほんの些細な一言が、赤ちゃんを温かく見守ってくれているんだなと感じられて、有難かったことを思い出したそうです。ちよつとした手助けや、何気ない声かけでもみんながちよつとづつすることでは、一人かしたら大きなサポートになつていくのではないかと？

◎手を繋いで歩いている

おじいちゃんおばあちゃんみて、なんだかほっこり。

◎電車内。3歳くらいの子が景色きれいだね。しあわせだね。」おにぎり美味しいね。しあわせだね」と連呼している。隣にいる背の高い優しそうな男が「しあわせだね」といつも口にしてるんだらうな。少し声が大きくなつても車内はなごやか。ほっこり。

◎さつき新幹線が急停車しておばさんが後ろに倒れそうになつたから咄嗟に抱きしめちゃつた(笑) 枢メイク黒マスクで怖かつただろうにおばさん怖がらずにありがとうつて言ってくれた。とりあえず頭打たなくてよかつた。お礼つてさつきおばさんからお茶もらつてしまった。いい人だ、ほっこり。

楽しい感情が感染する

笑っているような鳴き声をするミヤマオウムは知能が高く、その鳴き声を聞いた仲間のオウムは明るい気分になるという。情動感染と呼ばれるこの反応は進化した人間とチンパンジーとねずみで確認されています。感情は伝染するということです。ミヤマオウムが他の鳴き声を聞いて楽しい気分になるのは、人間でいえば、他人の笑い声につられて可笑しくなるようなことと同じ。マオリ語で「アア」と呼ばれるミヤマオウムの保護団体会長は「アアを研究して、一緒に暮らしていると、彼らの知能がとても高く、社会的で、

編集後記

仲間と一緒に遊ぶことに喜びを感じる鳥だ。誰かを感じる鳥だ。この点は人間を含め認知能力が高い動物と似ています。」と語っています。残念なことに現在ミヤマオウムは激少し危惧種に指定されているが、このオウムが理解され、人々の関心が高まれば、絶滅の危機から救われるのではなにかということですが、心がほっこりしたり、楽しさ、笑いが伝染するつていいですね。人と人、鳥と鳥だけでなく、人間と動物も心の伝染があると思いませんか？犬や猫は飼い主の感情に反応した行動をとつたりします。感情の伝染、心の交流を知らないうちにもやっていると、うことだと思えます。どうせなら、周りの人が幸せに元気になる交流をしたいと思えます。楽しさ、ほっこりが実は誰かを幸せにする力があるようです。そして他の動物を護れるように地球環境も考えることも、動物の頂点に立つ人類ができることだと思えます。